

市史活用推進事業および資料レスキューについて

【市史活用推進事業】

1. 印刷物発行予定

- (1) 『仙台市史活用資料集 vol.6 太白区の歴史探し—東部—』
A4判 16頁 900部作成
平成30年8月10日発行予定
- (2) 『市史せんだい』Vol.28（平成30年9月30日発行予定）
A5判 112頁 1000部作成
平成30年9月30日発行予定
- (3) 『仙台市史活用資料集 vol.7 青葉区の歴史探し—西部—』
A4判 16頁 900部作成
平成31年2月末発行予定

2. 普及活動実施報告

(1) 第5回まちなか博物館講座

※東北工業大学との連携事業

- ・日時：平成30年5月13日（日）13：30～15：00
- ・会場：東北工業大学一番町ロビー 2階ホール
- ・内容：「日本の手仕事ぐるり一周」 寺澤慎吾（当館学芸員）
- ・定員：120名（先着順）
- ・参加人数：48名

※第6回は11月10日に「戊辰戦争150年—仙台藩の選択」というテーマで実施予定
（事前申込制）

(2) 第36回仙台市史講座「二口街道と秋保温泉」

※仙台市秋保市民センターとの共催事業

- ・日時：平成30年6月23日（土）13：30～15：30
- ・会場：仙台市秋保市民センター・ホール
- ・内容：「二口街道と野尻番所～境を越えた人びと～」 菅野正道氏（郷土史家）
「行き交う人々、迎える人々～江戸時代の二口街道と秋保温泉～」
高橋陽一氏（東北大学東北アジア研究センター・上廣歴史資料学研究部門助教）
- ・定員：150名（先着順）
- ・参加人数：174名

※第37回は12月2日に片平さくらホールにて「近代の風景」というテーマで実施予定

(3) 図書館連携講座「和の心の風景」第1回

※仙台市図書館との連携事業

- ・日時：平成30年7月12日（木）18：30～20：15
- ・会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
- ・内容：「浮世絵にみる日本の幽霊・妖怪たち」
- ・講師：寺澤慎吾（当館学芸員）・星博之氏（仙台市民図書館司書）
- ・定員：200名（先着順）
- ・参加人数：117名

※第2回は9月13日に上記会場にて「工芸と物語」というテーマで実施予定

【資料レスキュー】

1. 資料レスキューパネル活用状況

※東日本大震災による仙台市沿岸の被害状況や被災資料の保全活動についてまとめたパネル

(1) 展示

- ・期間：6月5日（火）～6月17日（日） 9：00～16：45（博物館開館時間）
- ・会場：仙台市博物館1階ロビー
- ・内容：「市民防災の日」に合わせ、過去に仙台平野を襲った地震を紹介
- ・展示枚数：4枚

(2) 貸出

- ・期間：6月10日（日）～7月8日（日）
- ・貸出先：社会福祉法人施設（栃木県）
- ・内容：施設スタッフの勉強会での使用のため貸出
- ・貸出枚数：16枚

(3) 展示予定

- ・期間：8月3日（金）～8月30日（木）
- ・会場：仙台市教育センター
- ・内容：センターを利用する教職員に向けたパネル貸出やガイダンス等の広報
- ・展示枚数：10枚

2. 西日本豪雨災害関連

友好館やNPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク（略称：宮城資料ネット）と連絡をとり、愛媛県歴史文化博物館、宇和島市立伊達文化博物館、岡山県立美術館へ水損文書レスキューに必要な支援物資（防塵マスク、吸水用ペーパー、ゴム手袋等）を提供した。